別紙様式

成果（○）と課題（●）　　校番（４）　【広中央中学校】

１　「本質的な問い」による題材について

○　本単元の本質的な問い「私たちにとってよりよい食生活とはどのようなものか。」に対して，生徒は自分ごととして捉え，単元を通して自己の考えを深めることができたことから，「本質的な問い」に迫る展開になっていたと考える。

○　第二次の学習で，生徒から出た３つの視点「健康と安全」「時間」「おいしく食べる」を踏まえた調理計画を立てさせた。視点を示すことで，生徒は，安全面に注意しながら，限られた時間で，おいしく食べるにはどうしたらよいか，という課題について考えを深めることができた。

○　生徒の課題をめあてに繋げることができたので，生徒は課題意識をもって学習に取り組むことができた。

●　【個人思考】と【集団思考】の違いが見えにくかったことから，交流場面での「話型」や，自分の計画のポイントなどを説明させる工夫が必要であった。

●　【集団思考】の後に，１点ずつでも全体交流ができるとよかった。

●　活動の途中で教師の気付きを付け加える場面があったが，生徒が自ら気付くような発問をすることで深い学びにつなげる必要があった。

２　題材で育成を目指す資質・能力について

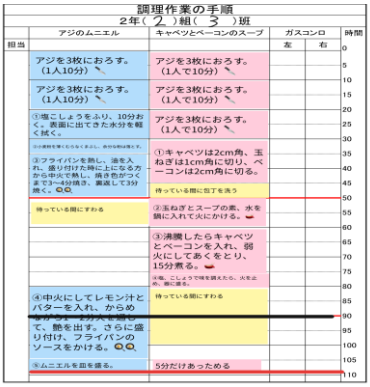
【知識・技能】

○　前時までに学習した基礎的・基本的な知識及び技能を活用することで，健康・安全や時間の視点から調理計画を考えて工夫をしたり，役割分担をしたりすることができた。

【思考・判断・表現】

○　どの班も設定した課題や提示された条件を解決するような計画を立てることができた。中には「アジのムニエルを担当する人がキャベツとベーコンのスープの手伝いをしてもよいですか」や「キャベツとベーコンのスープは温め直したらいいね」など，計画を工夫する質問や意見が出た。

【調理計画例：調理作業中の空き時間の工夫】



【調理計画例：試食前の工夫】

【主体的に学習に取り組む態度】

○　本単元の学習を生かし，冬期休業中のレポート課題で多くの生徒が自宅で１汁３菜を意識した料理を調理していたことから，よりよい食生活に向けて自分の生活を工夫しようとする姿が見られた。

●　調理実習実施前に新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されたため調理実習を延期した。そのため，アジの３枚おろしの技能試験や調理計画の振り返りを行うことができなかった。

３　「デジタル機器」の活用

○　電子ワークシートを使用することで，考えさせたい内容が焦点化され，活動時間をしっかり確保することができた。また，準備にかける時間の大幅な短縮にもつながった。

○　調理カードを組み合わせながら調理計画を考えさせる際，色分けしたカードを使用することで，調理作業の空いている時間が見える化できた。

●　電子ワークシートで調理作業を並び替える際，パズル感覚で組み合わせながら作業の流れを改善することができたが，調理場での実際の動きに結び付いていない生徒もいた。調理室や調理台，用具や食器などの写真やキーワードなどを示して，調理や調理以外でどのような行動が想定されるのかを考えさせる必要があった。

別紙様式